

計測・標準分科会  
Optical Metrology Division

第 38 回環瀬戸内海光源研究会

概要報告

1. タイトル

第38回環瀬戸内海光源研究会

主題: 新光源材料の可能性と照明ソフト関連技術情報に触れる

2. 日時

2012 年 12 月 7 日 (金) 13:00~18:00 (技術交流会: 18:00~20:00)

3. 会場

ツイン 21 MIDタワー 20階 会議室

〒540-6120 大阪府大阪市中央区城見 2-1-61

4. 内容 (発表者敬称略)

司会 : パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 明星 稔

13:00~13:10	開会、事務連絡	パナソニック	明星 稔
13:10~13:50	「発光性シリコンナノ粒子の各種製法と白色光源への応用」 東京電気大学 ○住吉 頌平、平栗 健二		
13:50~14:30	「n-ZnO ナノワイヤを利用したヘテロLEDの作成と発光特性」 九州大学 ○中村 大輔		
14:30~15:10	パナソニックにおける演色性評価技術の開発 パナソニック ○向 健二		
15:10~15:20	休憩		
15:20~16:00	「量子分割蛍光体 SrAl <sub>12</sub> O <sub>19</sub> :Pr <sup>3+</sup> におけるAIFの融剤効果」 愛媛大学 ○本村 英樹		
16:00~16:40	「蛍光体粉体サンプルの量子効率測定装置の検討」 大塚電子(株) ○春田 真友子		
16:40~17:20	「C12A7 エレクトライドの熱陰極応用」 旭硝子 ○渡邊 俊成		
17:20~17:30	閉会、事務連絡	パナソニック	明星 稔
18:00~20:00	技術交流会		

5. 概況

本研究会は、「研究途上の議論をフランクに行える場を」という故・板谷良平京都大学名誉教授の考えから始まった研究会で、年2回ずつ開催されてきました。今大会で、38回目となり、約20年続けられております。

東京、九州から、30名を越える参加者にお集まりいただき、盛況でした。発表内容は、基礎的な分野をはじめ、これからの照明を担うような新しい技術にもおよび、各発表について「こういう実験をすればもっと良く分かるのでは」とか「○○○だから△△△ではないか」等、活発な議論が行われました。非常に有意義な時間を共有することができたと考えています。

また、研究会後の技術交流会においても、より活発で、熱い議論が交わされ、本研究会は盛会の内に終わりました。

以上